

ようこそ 松尾城跡



① 城跡登り口



② 城内通路1



③ 城内通路2



④ 正面が本丸跡



⑤ 本丸跡登り口



⑥ 本丸跡



⑦ 土持記念碑



B 二の丸跡



⑧ 本丸跡2

Ⅲ～Ⅵ 曲輪跡(立入不可)

A 本丸広場

B 二の丸跡

進入不可(行き止まり)

墓地

駐車場

本東寺

山門

松尾城跡 について

松山町の高千穂鉄道跡と国道218号との間にある丘陵が松山城跡です。奈良時代から延岡地方を領有していた土持氏最後の城で、土持宣綱が文安元年(1444)から3年かけて築き、西階城から移って来ました。

南の伊東氏の脅威に備えるため、五ヶ瀬川北岸に城郭を築いたようで、城の西側にあたる小峰町の天福寺がある丘や、北東側にある丘も城郭の一部とみられています。

天正6年(1578)4月、豊後の大友宗麟は土持氏を攻め、松尾城は落城し、土持16代・親成は捕縛されて豊後で自刃しました。また17代の高信は、祝子川沿いの妙(みょう)で自刃(現土持神社)、土持氏は滅亡しました。

天正15年(1587)、豊臣秀吉の九州征討の直後、豊前国香春から高橋元種が5万石で松尾城に入りました。

元種は慶長6年(1601)、延岡城の建設に着手し、同8年に延岡城へ移りました。

松尾城の本丸跡とその周囲は公園化され、本丸跡の一角には「土持氏記念碑」と刻まれた大きな石碑が建っています。本丸跡のすぐ東側には「慧日梅」(県巨樹百選)で知られる本東寺があります。